



上原 富士雄  
(公明党)

### 葬儀形態の変化における 家族葬等の施設建設について

#### 現在の葬儀形態の認識について

**問** すみれヶ丘聖苑の課題は七年前にも質しています。通夜や家族葬・利用率改善、また指定管理者の導入等だが、市民からの指摘が一向に改善されていない大小ホールの利用率改善や小さなお葬式等の葬儀形態の認識は。

**答** 大ホールは昨年・一昨年共に一件。小ホールは昨年十九件で一昨年二十二件です。火葬件数における利用率は昨年二・三%一昨年二・八%で、富岡市の斎場では四三%と六四%です。今後は社会環境の多様化や利用形態に沿った施設になるよう、また市民が利用しやすい施設として整備が必要と考えます。

#### 低所得世帯の家族葬的施設の必要性について

**問** 民間における家族葬の実態は。  
**答** 一般葬に対し三〇%〜四〇%で、今後増加傾向にあります。  
**問** 市の総合計画の後期基本計画

で「すみれヶ丘聖苑の適正な維持管理に努める」とあえて追加しうたつてある。しかし改善されていない。生活環境や低所得等でご遺体の搬送や葬儀費用を工面できない市民のためにも、人道的見地・式場の適正な提供・利用率の向上対策等でも、家族葬的施設が必要と考えるが。

**答** 今年度から策定に取り組む公共施設等総合管理計画に合わせ市民・業者等、多方面から意見を聞き実際に検討して行きます。



すみれヶ丘聖苑



櫻井 喜久江  
(無所属)

### 機構改革・住環境の保全について

#### 住環境保全について

**問** 荒れていると思われる竹林、山林、耕作放棄地等への取り組みは。

**答** 竹の粉碎機の貸し出し、竹枯らし材の供与を行っています。山林については「地域活動推進」や「困難地整備支援」事業が、耕作放棄地は国、県、市による補助制度があります。

**問** 農地の紹介システムは。

**答** 農地中間管理機構へ紹介し、平成二十七年度は四十八人の転貸が行われ、農業委員会の貸借あっせんも行っていきます。

**問** 土地所有者等が適正な管理要請を受けても応じない場合は。

**答** 所有者を確認し、適正管理を継続してまいります。

**問** 市民が利用できる補助金、助成金の紹介は。

**答** 農林課では多面的機能支事業等があるが、今後も関係機関と連携し、情報発信していきます。

**問** 特定空き家審議機構は。

**答** 対策協議会の設置、対策計画の策定が急務です。地域創造課で取り組みを始めました。

**問** 空き家の利活用は。

**答** 賃貸借があり、宅地建物取引業者と連携し、空き家バンクを構築、利活用を図ります。

**問** 所有者等の適正管理の意識の向上は。

**答** 継続したお願いを行い、手紙を出す以外、電話や直接面談などの手段も講じていきます。



竹林伐採風景